

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL http://www.airoren.gr.jp

発行人 樽松 佐一

第115号 2003年2月10日

消費税増税、年金大改悪NO!

3・1 大学習会

と き 3月1日(土)13:30~16:30

と ころ 労働会館東館ホール

講 演 公文昭夫さん・大島良満さん

アマラ・ダウド(3歳)は10ヶ月前に腎臓ガンを発病、体全体に転移してしまっただけで寝かせると痛がるので母親が抱いて寝かせていた。手遅れで手のほどこしようにないと医者には言っていた。(バグダッド・サダム教育病院にて) 写真と文 森住卓さん(紙面右上も)



「イラクはアメリカやイギリスの敵になるような国ではありません。戦争にまで取材を通しての美感

アメリカこそ最大の大量破壊兵器保有国

アメリカによるイラク攻撃の危険が高まっています。武力行使ではなく外交的努力によって平和的解決を図ることは出来ないのでしょうか。98年から6回にわたってイラクに入り湾岸戦争の後遺症と経済制裁に苦しむ人々を追い続け、1月末に帰国したフオトジャーナリスト森住卓(たかし)さんを愛労連・自治労連・名古屋市職労が共同取材しました。



アホメッド・ファレス(女・2ヶ月)。生まれたときは3000gだった体重が15日間下痢が続き、500gも体重が減ってしまった。下痢止めの抗生剤がない。(バグダッド・サダム教育病院)

「査察自体が茶番、日本のメディアはアメリカ一辺倒で真実が知らされていない」と言います。

アメリカは大量破壊兵器の開発を問題にしています。98年に行われた査察で判明したようにほとんどの兵器が破壊され、核兵器開発には大量の電力と水、技術が必要であり秘密で出されるようなものではありません。「核兵器開発をやっていないことは、スパイ衛星などで監視しているアメリカがいちばん知っていること。査察団も何も出てこないことは分かっているはず。査察自体が茶番、日本のメディアはアメリカ一辺倒で真実が知らされていない」と言います。



森住卓さん(51) 在日米軍基地や環境問題、世界の核被害を追い続けている。江川紹子氏との共著「イラクからの報告」が小学館文庫より2月6日発売。http://www.morizumi-pj.com

アメリカの人々に伝えたい 湾岸戦争の後遺症と経済制裁に苦しむイラク

劣化ウラン弾は核燃料を作るのに残った絞りかすのウランを砲弾の先端に使用したものです。硬く重い性質から戦車の装甲も打ち抜くその威力から多国が配備

森住さんが5年前からイラクの取材に入ったのは、91年に始まった湾岸戦争で米英軍が使用した劣化ウラン弾による放射能汚染による被害を追うためです。「イラクでは白血病やガ

アメリカはこの子たちを撃つのか

「なぜ石油のために殺し、死ななければならぬのか？」ブッシュの狙いは明らかです(1.18ワシントン集会にて)

現在、ニューヨークに「留学」中です。緊迫する情勢の中、ワシントンの反戦集会に参加しました。若手が主体ながら全ての年齢層に広がり、家族連れを含めて、10月の全国集会の25倍、50万人が参加しました。壇上では、国会議員や元司法長官、有名女優や黒人指導者、パレスチナ人、ユダヤ人、韓国人なども演説し、ブッシュ政権も恐れを感じ始めています。

「なぜ石油のために殺し、死ななければならぬのか？」ブッシュの狙いは明らかです(1.18ワシントン集会にて)



日本でも2月14日に全国各地で集会が(写真は東京での1.31緊急中央集会)

ン、無脳症などの奇形が多数発生し、10年以上続く経済制裁によって栄養失調で死亡する幼児は湾岸戦争以前の19倍、5人に1人の子どもの死んでいくと言います。病院はこうした子どもたちで溢れています。薬が不足し治療ができずに退院する子どもも少なくありません。米政府は劣化ウラン弾は安全と断言し、日本も含めてマスメディアは因果

関係が証明できないからと報道しませんが、湾岸戦争の帰還兵にも脳障害や甲状腺異常、ガン、生まれてくる子どもの奇形が起こっています。また、クウエート民や家畜にも異常が起こっています。「アメリカはどこで使用したかも公表しないので、対策も立てられないのが現状」と、フセインとブッシュの意地の張り合いに翻弄される人々。「アメリカがやるなら迎え撃つ」。森住さんは2月末にもイラク入りします。

「なぜ石油のために殺し、死ななければならぬのか？」ブッシュの狙いは明らかです(1.18ワシントン集会にて)

覚めやらぬ内に独仏が反対に回ったことで孤立感が深まっており、湾岸戦争時のように戦費を他国に任せようとしているブッシュ政権は日本の態度を非常に気にしています。その意味で日本のたたかいは決定的です。アメリカでも、反戦行動は連日おこなわれるようになっており、今月15日にはニューヨークで再び大

関係が証明できないからと報道しませんが、湾岸戦争の帰還兵にも脳障害や甲状腺異常、ガン、生まれてくる子どもの奇形が起こっています。また、クウエート民や家畜にも異常が起こっています。「アメリカはどこで使用したかも公表しないので、対策も立てられないのが現状」と、フセインとブッシュの意地の張り合いに翻弄される人々。「アメリカがやるなら迎え撃つ」。森住さんは2月末にもイラク入りします。

関係が証明できないからと報道しませんが、湾岸戦争の帰還兵にも脳障害や甲状腺異常、ガン、生まれてくる子どもの奇形が起こっています。また、クウエート民や家畜にも異常が起こっています。「アメリカはどこで使用したかも公表しないので、対策も立てられないのが現状」と、フセインとブッシュの意地の張り合いに翻弄される人々。「アメリカがやるなら迎え撃つ」。森住さんは2月末にもイラク入りします。

「なぜ石油のために殺し、死ななければならぬのか？」ブッシュの狙いは明らかです(1.18ワシントン集会にて)

集会が開かれます。無法な戦争を止めさせるために頑張りましょう。

ニューヨークレポート

京都大学教授 大西 広さん

日本のたたかいは決定的

澄み切った夜空に冬の星座がきれいでした。「みんなて愛知を変えよう会」の選挙事務所はそんなさわやかな締めくくりでした。「出会えて良かった。池住さんも初めて選挙を経験した多くの青年たちもこう語ってくれました。愛知の選挙はまだ新しい経験と信頼関係を広げる事ができました。わずか1週間で100名以上の青年を集めたイエローレボリューション、「ひと目見たその日から」熱烈なファンとなつて大奮闘した女性の会など、結果は残念ですが池住さんといっしょにたたかえて、本当に良かった。1日、スペースシャトルが爆発、空中分解しました。発射時に断熱材が左翼を直撃する事故があったのにNASAは「問題なし」としていました。そのNASAは大リストラで予算も人員も大幅削減され、「コロンビア」は22年間、28回も使用していたというからビックリです。大事故の陰にリストラありです。低落した「威信」を取り戻すため、アメリカのイラク攻撃のおそれが高まっています。同じ日のNHK講座で中日新聞の小出編集局長は「モノサシ一本だけで社会を見てはいけない」と、イラクへの先制攻撃についても理がないことを指摘しました。違うモノサシで見ると世界で広がる「石油のために殺すな」のたたかいは見え

